

京柔整会報

機関誌 145号



巻頭言

「改革への一歩」

副会長 柴田 宗宣

特 集

綾田剣一 前理事に聞く「様々な就業形態の柔道整復師が集まれる会に」

公益社団法人 京都府柔道整復師会

平成29年11月20日

京都医健専門学校

柔道整復科

3
年制

I 部 午前集中コース
I 部 午後集中コース

【柔道整復師】

京都医健は全国に約70校の姉妹校を有する滋慶学園グループの1校です。そのうち8校が柔道整復師を養成しております。姉妹校とのネットワークを活かし、国家試験対策を入学前から行っています。また、e-learningを用いてパソコンや携帯でいつでも学習ができます。万が一、国家試験が不合格になった場合は授業料無料でサポートします。

毎年高い国家試験合格率
2017年3月合格実績
97.4% 77名中 75名合格
全国平均 63.5%
1年から始まる
苦手克服の補講



滋慶学園グループ
全国柔道大会 8連覇達成
柔道部顧問
柔道整復科 学科長
柔道整復師 Minatoya Chikara
湊谷 知幹
柔道整復科 専任教員
柔道整復師 Utsumi Yuko
打味 裕子

京都医健は、「既修得単位認定制度」を設けています。

あなたの
学費を
サポート!!

あなたのキャリアを
最大限に活かす!
**既修得単位
認定制度**

大学・短期大学・専門学校の専門課程において既に履修された授業科目(基礎科目・専門基礎科目)で、本校のカリキュラムと同一科目もしくは授業内容が同一の場合、単位を認定し、その科目の履修を免除します。また認定された科目に対し授業料を一部免除します。さらに、校長が判断した場合、授業科目が同一でない場合も単位を認定することができます。

既修得単位認定制度で 履修単位の免除 授業料の免除 を受けることができます

鍼灸科 3年制 I 部 [昼間] 午前集中コース I 部 [夜間] 午後集中コース	理学療法科 4年制 I 部 [昼間] II 部 [夜間]	作業療法科 4年制 I 部 [昼間]	視能訓練科 3年制 I 部 [昼間]	言語聴覚科 2年制 I 部 [昼間] ※大卒者対象	社会福祉科 1年制 II 部 [夜間] ※大卒者等対象 精神保健福祉科 1年制 II 部 [夜間] ※大卒者等対象	スポーツ科学科 2年制 スポーツトレーナーコース アスレティックトレーナー専攻 スポーツトレーラー専攻 フィットネスマネジメントコース チアリーディングコース スポーツマネジメントコース スポーツビジネスコース	トータルピューティー科 2年制 ピューティー総合コース エステティックコース ピューティーアドバイザーコース マイクアップアーティストコース
---	--	-------------------------------------	-------------------------------------	---	--	--	--

※ご不明な点は、オープンキャンパスまたはお電話でお問い合わせ下さい。

スポーツ・医療・福祉・ピューティーが学べる

学校法人 滋慶京都学園 厚生労働大臣指定校

日本協同アスレティックトレーナー免除適応コース承認校

医健KEN 京都医健専門学校

0120-448-808

〒604-8203 京都市中京区三条通室町西入衣棚町51-2

メール info@kyoto-iken.ac.jp

携帯サイト http://kyoto-iken.ac.jp

WEBサイト http://www.kyoto-iken.ac.jp

携帯サイト
携帯・PHSから
QRコードで
簡単アクセス!



京都医健

検索

目 次

◆ 卷頭言 「改革への一步」	副会長 柴田宗宣	2
† 特集 綾田剣一 前理事に聞く 「様々な就業形態の柔道整復師が集まれる会に」		4
※ 第43回近畿ブロック柔道大会		6
※ 普通救命講習		9
※ 平成29年度京都府総合防災訓練		11
※ 第6回京都府柔道整復師会・京都医健専門学校合同講習会		12
※ 平成29年度機能訓練指導に係る意見交換会		12
※ 平成29年度全体会議		13
※ 救護活動報告 ・『宮津与謝柔道連盟杯ジュニア大会』	第五分隊 月城順学	14
・「亀岡市柔道連盟 昇段審査・平和祭柔道大会」	第四分隊 服部博幸	14
・「京都手をつなぐ育成会 第43回新睦大運動会」	第二分隊 岸本隆幸	15
・「第53回京都市バレーボール祭り」	第六分隊 国本一路	15
・「東西対抗柔道大会」	第六分隊 国本一路	16
※ 第10回日整近畿ブロック親善ゴルフ大会 京柔整ゴルフ同好会	山形高明	17
※ 平成29年全国少年柔道協議会 京都府少年柔道教室 事業部	田井 覚	17
※ 部員紀行 「富士に登る」	安田優二	18
※ コラム ・浮腫について	広報部 梅谷慎二	20
・「矜持」という言葉	広報部 中川稔貴	21
※ 支部だより ・下京・南支部総会、懇親会	通信員 安田優二	22
・平成29年度夏季左京会開催	通信員 岸本隆幸	22
・西山会開催	通信員 石田陽寛	23
・北、上京支部会・懇親会	通信員 相良遼太	23
● 会員の動静		24
● 掲示板コーナー		24
■ 編集後記		25

表紙の写真

「精進湖より望む富士山」

頂上付近には雲の笠がかかり、峰の上部に陽光による細い帯が現れている。山裾には薄く霞がたなびいている。富士は天候や時間により刻々とその様相を変えていく。精進湖北側から見る富士山は手前に大室山を配している様子から「子抱き富士」とも呼ばれる。大室山の手前には有名な青木ヶ原樹海がある。2015年7月23日、夕刻撮影。

「改革への一歩」



副会長 柴 田 宗 宣

今年の6月に理事選挙が行われ、執行部に新しい風が吹き込んで参りました。その風に負けないよう、新鮮な視線で会務を執行したいと考えております。さて、我々を取りまく環境は大きく変化しております。高齢化社会に伴って社会保障費の増大から療養費の適正化施策という名のもと保険者から抑制策ともいえるアンケート調査、また、平成10年の福岡地裁判決において規制緩和の名の下に設置基準さえ満たせば新規開校が許されるようになり、昨年においては平成10年度の約8倍、柔整養成施設が109施設定員数は約8千6百人になり患者の激減につながっております。このような柔道整復師の飽和状態と供給過剰となってきたことによる質の低下から、柔道整復とは全くかけ離れたエステや慰安的なマッサージを療養費で請求したり、また反社会的勢力に利用され柔道整復施術療養費の不正受給・詐欺容疑で逮捕されたり、全国各地で療養費取り扱い中止や業務停止などが報道され業界の社会的信頼が失墜し、強い批判と変化が求められました。それにより厚労省内に制度改革のために既に設置されていた「柔道整復療養費検討専門委員会」に加え、新たに「柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討

会」という検討会が設置されました。この改善検討会には本会の長尾淳彦会長が委員として出席され、業界信頼回復のための施策を提案していただいております。見直しされた内容は総単位数が現行 85 単位から 99 単位以上となり、履修時間数も 1,530 時間から最低 2,750 時間以上として、それぞれの単位・時間数の設定、臨床実習施設を養成施設附属臨床実習施設以外にも拡大するなど、臨床実習を行う施設の要件や専任教員の見直し、教授範囲の見直しなどが検討され、平成 30 年 4 月入学生から適用されることになっております。この実務研修先に本会は積極的に協力して、本会の良さを学生さんにも知っていただきたいと考えております。週に 3 日も行けば条件を満たす柔道整復師養成施設が無くなるのです。また、施術管理者の要件強化として、資格取得後に実務経験と研修又は講習受講を経なければ受領委任を取り扱えないことになります。現状では施術管理者が新卒の未経験者で、国家資格を得るまでに保険請求業務の実務経験がないだけでなく、実際の施術業務の経験もほとんどないような場合でも、ただ登録手続きをするだけで保険請求ができます。こうした柔整業界の盲点・弱点ともいべき部分に目をつけ、新卒者の資格だけを利用したチェーン店化した接骨院の開業に歯止めがかけられます。今後も公益社団法人 京都府柔道整復師会は業界改革の一翼を担うために邁進いたします。会員皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第 48 回衆議院議員総選挙（2017 年 10 月 22 日）において、
公益社団法人京都府柔道整復師会 顧問の先生方が当選されました。

当選 伊吹文明 先生（京都 1 区）

当選 田中英之 先生（京都 4 区）

おめでとうございます。益々のご活躍をお祈り申し上げます。

[会員インタビュー] 綾田剣一 前理事に聞く 様々な就業形態の柔道整復師が集まる会に



◆プロフィール

綾田剣一 会員（西京支部）

略歴

平成 25 年度～26 年度 学術部員

平成 27 年度～28 年度 理事（学術部長）

今回は諸事情により理事を辞任された綾田剣一 会員にインタビューすることができました。今後の京都府柔道整復師会の運営について、綾田会員の考えを聞きしました。

○理事 2 年の任期お疲れさまでした。まずは 2 年間の理事を務められて思われたことについてお聞かせください。

長尾会長が掲げられている「柔道整復師の信頼回復」のスローガンは着実に歩みを進め、徐々にその効果を感じてきています。保険部の新入会員に対する保険取り扱い指導の取り組みもあり、着実にその効果が出てきています。しかしながら、ここ最近の柔道整復師業界を取り巻く環境は大きく変化していると感じています。社団に入会していない個人請求の柔道整復師の中には外傷に対する保険施術だけでなく、外傷以外で自費施術を行うことが多くなってきています。現在、本会は保険施術を行うための積極的な取り組みがあり、非常に有益なのですが、自費施術を行っている柔道整復師にもっとメリットがある会にできないだろうかと思います。私のもとで働いてくれていた元従業員も自費施術だけを行っており、本会に自費施術をする会員のための取り組みが少ないと感じ、退会しました。会をやめていいかどうか相談があったときにも、社団に所属しているからこそ、伏見地域介護予防推進センターでの講師業や、救急救護隊での各運動イベントへの参加、デイサービスセンターへの機能訓練指導員としての派遣、居宅介護支援事業所での活動など、メリットがあることも伝えましたが、残念ながら退会してしまいました。実際に 1 カ月の療養費支給申請書の枚数が 10 枚以下の会員もいて、定額会費を支払うために本会に入金しなければならない人が出てきています。保険施術を行わない自費を行う柔道整復師に対して、何か有益な取り組みをもう少しできないかと思っております。今後の少子高齢化、社会保障費の増大により保険給付の抑制は避けられないと思いますし、自費施術が接骨院経営の主となる時代になるようであれば、会員の減少による組織率の低下を招き、行政機関との連携にも影響が出てくると思います。何か対策ができればと思っています。

○まずはどのようなことから始められるとよいと思われますか。

会費の徴収の仕方と会員種別の細分化をすればどうかと考えています。定額会費をなくし、定率会費だけにしたり、ホームページのサーバーの共同運用やチラシの共同印刷等を利用する会員のための年会費を徴収したりして、保険施術を行う人も自費施術を行う人も双方メリットがある会員種別を作ることが重要だと思います。

最近では某コンサルタント会社が院経営についての事業を展開していますが、民間の業者ではなく、社団でも行えると思っています。例えば、自費施術では再発予防や健康維持・増進のための施術も行いますので、患者さんへ施術後の経過を訪ねるメール配信システムの運用や、その案内文のひな型の提供などができると思います。ラーメン屋でも麺硬めの背油多めのネギ多めなど言えるでしょう。自費の人には自費のためのもの、保険を使う人には保険を使う人のためのものを提供できる会費の徴収の仕方と事業を展開できるのではと思います。

我々には広告の制限があり、不特定多数の人に渡すチラシには伝える内容に対して制限があり

ます。地域住民の中には接骨院、整骨院、整体院、マッサージ院、鍼灸院、リラクゼーションサロンなどの違いが判らず、どこを選べばいいかわからない人たちがいます。健康教室を社団主導により各地で開催し、運動器についての健康情報を提供するとともに、施術所の使い方講座等を開いてはどうかと思っています。来られている方たちへの情報発信で、情報発信先が特定されているため、問題はありません。健康教室の講師として協力していただける会員には地域住民に対してよい宣伝になるかと思いますし、地域住民に対する健康保持増進のための事業なので、十分、公益事業に値すると思います。患者さんとして来院されれば、院の収益ともなりますので、本会にとっても、会員にとっても、患者さんにとってもメリットがある良い取り組みになるのではないかと考えています。自費施術を行う会員にとっても良いメリットになるのではないかでしょうか。

○綾田先生は超音波画像観察装置を用いた取り組みもされていると聞きますが、具体的な取り組みについてお聞かせください。

超音波初級セミナーを始めましたが、使える人が増えて、公益社団主導で野球肘等の観察が行えればどうかと思っています。各行政区単位くらいで野球を行っている児童、学生を集め、超音波画像観察装置を用いて、離断性骨軟骨炎等の早期発見ができる取り組みができればと思っています。

○柔道整復師が超音波画像観察装置を用いての判断を行ってもよいものなのでしょうか。

診断はできません。我々が行えるのは観察のみです。観察して、離断性骨軟骨炎が疑われる人がいれば、地域の医師と連携し、地域医療に貢献できればどうかと思います。手術療法等になれば、離断性骨軟骨炎に対する施術ができないかもしれません、救える肘を見つけることができればと思います。これも公益事業一環としてできるのではないかと思っています。この事業も、参加していただける会員には地域住民に対して「超音波を使いこなせる先生」とアピールすることもでき、自院の収益にもつながると思います。本会、会員、地域住民、相互にメリットにある取り組みになるかと考えています。

○自費を行う柔道整復師の話が出ましたが、保険請求に対しての考え方をお聞かせください。

今まで通り、外傷は保険施術、外傷以外は自費施術とはっきりと分けて請求をすることが重要です。長尾会長が掲げられている「柔道整復師の信頼回復」のスローガンの下、本会保険部の厳しい指導で今日まで築き上げてきた行政機関をはじめ、関係各位との信頼関係を隠れ蓑にしでもらっては困ります。隠れ蓑にする会員がいるようであれば、今まで以上に厳しく指導する必要があると思います。不正のない会を維持して、本会会員は不正のない会員で信頼のおける柔道整復師であると言い続けられる会を維持できればと思います。

○今後の本会の運営についてご意見をお聞かせください。

自費施術を行う会員のための事業をもっと行えればと話してきましたが、まだ、大きく動き出せていません。時代の流れとともに柔道整復師の働き方にも多様性が出てきています。独立開業し、一人で接骨院を行う柔道整復師もいれば、複数人の柔道整復師を雇って事業展開をする柔道整復師もいます。一人接骨院に昔ながらの徒弟制度を継承するような勤務形態で就業をする柔道整復師もいれば、手厚い社会保険を完備し、法人格を持って運営する接骨院に就業する柔道整復師もいます。病院のリハビリ室で勤務する柔道整復師もいれば、介護保険の機能訓練指導員としてデイサービス等に勤務する柔道整復師もいます。本会の伏見地域推進センターで勤務する常勤の柔道整復師もありますし、フィットネスクラブなどの商業施設で働く柔道整復師もいます。接骨院の中でも保険施術のみを行っている施術所もあれば、保険施術と自費施術を分けて行っている施術所、保険施術を行わずに自費施術のみを行う施術所もあります。様々な就業形態の柔道整復師がいますが、基は同じ教育課程を歩んできた同じ柔道整復師です。今まで通りの開業者が主たる会員の会ではなく、様々な就業形態の柔道整復師が集まれる会になれば、入会者も増え、組織率を高めることができ、もっと様々な方面での活動ができる会になれると思います。時代の流れとともに本会の運営に関しても変化が求められているのではないでしようか。

(広報部 森田康裕)

第43回近畿ブロック柔道大会

平成29年8月6日（日）午前9時半より奈良市中央第二武道場（ならでん第二武道場）において第43回近畿ブロック柔道大会が開催されました。

定刻より開会式が始まり、川口貴弘大会会長の開会宣言より始まり、石津雅恵ソプラノ歌手が国歌独唱を行って下さいました。

その後、出場回数表彰がされ、川口貴弘大会会長挨拶に次いで麻田茂雄（奈良県柔道協会）審判長より注意事項の説明がなされ、奈良代表 平野大亮選手の選手宣誓が行われました。試合開始前に第7回日整全国柔道形競技会出場チーム（近畿代表3組）の形演舞が披露されました。



川口貴弘大会会長挨拶



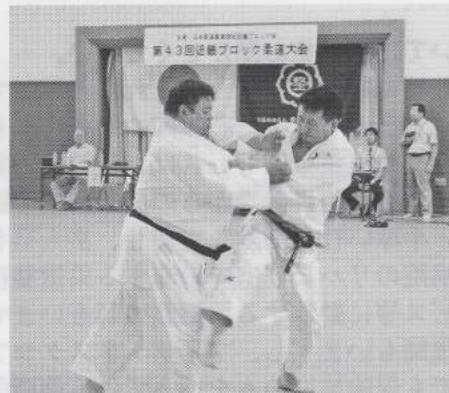
平野大亮選手宣誓



少年少女の部 演武風景



試合風景



試合風景



君が代を歌うソプラノ
歌手 石津雅恵氏

（解説：朝日新聞社）

各試合結果は以下の表通りとなっています。

紅白戦対戦結果 第1試合場

番号	府県	氏名	段位	年齢	試合結果	府県	氏名	段位	年齢
1	奈	勝良 憲浩	四	38	○	滋	久西 瞳人	五	46
2	和	田伏 隆	四	48	○	奈	西畠 弘毅	三	46
3	京	竹村 尚記	五	42	✗	兵	池田 裕昭	五	41
4	兵	坊 晃	五	49	✗	奈	平野 大亮	五	41
5	京	大角 康之	六	47	✗	兵	澤村 誠四郎	五	50
6	兵	中村 古	五	76	○	奈	木村 友慈	五	54
7	兵	藤本 進	五	56	✗	和	黒田 善治	六	57
8	奈	田房 豊彦	七	71	✗	兵	磯田 實	七	67

第2試合場

番号	府県	氏名	段位	年齢	試合結果	府県	氏名	段位	年齢
1	和	横貫 博孝	三	42	⊖	兵	本多 隆敏	三	38
2	和	栗本 建也	三	48	⊖	滋	下川 智史	三	42
3	和	西岡 正人	四	40	⊖	兵	佐伯 高志	四	43
4	滋	橋爪 宏治	四	43	✗	和	児島 隆順	四	48
5	滋	真下 盛吉	五	38	○	兵	磯田 和伸	五	34
6	滋	久西 瞳人	五	46	○	奈	長田 庄玄	四	43
7	京	岡島 順	六	69	○	奈	西尾 勝彦	六	75
8	京	長井 隆尚	六	70	○	兵	野田 哲郎	七	65

年代別選手権大会（兼日整全国大会予選）

20歳代



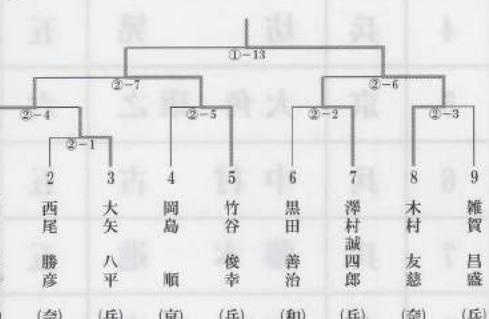
30歳代



40歳代



50歳代



閉会式の前に、奈良県柔道協会会員による形演舞をしていただき、成績発表と表彰式を行い岩本芳照大会副会長の閉会宣言にて終了となりました。

近畿代表に選ばれた、メンバーは以下の通りとなっています。皆様、全国大会での健闘をお祈り申し上げます。



近畿代表メンバー

大会当日は天候も良く、体育館も気温の高さと選手の熱気により、かなり暑い環境でありましたが、皆様ご健闘されていました。選手・応援の皆様お疲れ様でした。

(広報部 梅谷慎二)

「近畿代表選手」

年 代	府県名	氏 名
50歳代	奈良県	木村 友慈
40歳代	京都府	渕谷 知幹
30歳代	兵庫県	磯田 和伸
30歳代	兵庫県	龟野 真吾
20歳代	京都府	ガンバートル・フデレムンフ

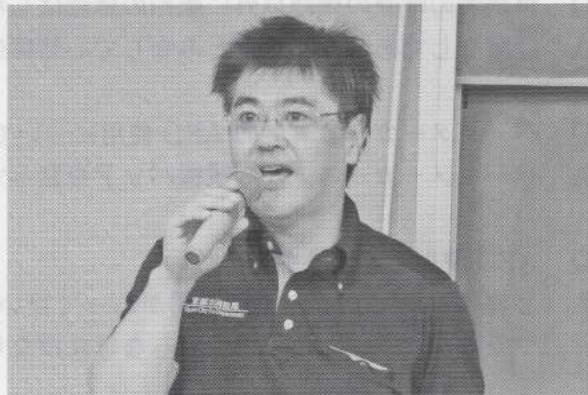
普通救命講習会開催

平成 29 年 8 月 27 日(日)、午前 9 時より堀川御池の中京消防署 4 階、講堂にて普通救命講習会が開催された。8 時 40 分より受付が始まり、定刻になり開始された。岡田達也事業部長より挨拶があり、講師の京都市消防局 中京消防署 救急係長 濱津 均様により講習が開始された。濱津氏は約 30 年間、現場で救急救命士として業務に携わってこられたベテランである。救急救命士は現在、気管挿管、アドレナリン投与や点滴も行うことができるなど高度化しているとのことである。現在の傾向として「触ったらあかん神話」と形容

され、救急車が現場到着するまで放置される事が多い。しかし、心肺蘇生処置を行えば救命できたかもしれない事例があることを話された。昨年、女子大生が大きな交差点で倒れた人に対して、冷静に観察し、周囲を取り巻く人に止められても AED による処置を行い、一命をとりとめて感謝状を贈られた実例を紹介された。勇気と人を助けたいという気持ちをもって、もしものときに遭遇したら救命処置を行うべきと話された。

しばらく配布された救命講習テキストに沿って講習が行われた。内容は応急手当の重要性、感染防止、応急手当の実施による法的責任と解説が続き、京都市での救急車到着時間（6 分 18 秒）、年間救急車の要請数（85,000 件）など適宜質問を交え、受講者からの質問も受けながら和やかに講習は続いた。柔道の現場での救命事例の可能性として頸椎（頸髄）損傷による呼吸不全、心筋梗塞、心臓震盪などを挙げられた。去年の 9 月からの変更点として心肺蘇生法における胸骨圧迫（心臓マッサージ）の回数が 1 分間に少なくとも 100 回とされていたが、1 分間に 100～120 回と変更されたとのことであった。

30 分程度の心肺蘇生法の DVD 視聴があり、AED（自動体外式除細動器）を使用するべき心電図の波形、心肺蘇生法を行うべき心電図の波形について解説が成され、心肺蘇生法実技に移った。訓練用人形を使い受講者全員が胸骨圧迫、人工呼吸、AED 使用法の実習を行った。次に傷病者の発見、反応確認、応援要請、呼吸の確認、AED の使用など実際の手順についてシミュレーション実習を行った。



濱津均講師



救命講習テキスト



講習風景

講習中の主な質疑応答

Q 雨天時の AED 使用について教えて下さい

A 濡れていない場所に移動して行うか、小雨であればタオルで拭って速やかに行っても良いと思います

Q 傷病者の呼吸の確認以外に脈拍の確認はしなくていいのですか

A 呼吸なしであれば心停止とみなして心肺蘇生法を直ちに開始して下さい

Q ペースメーカー装着者の AED 使用について

A ペースメーカーの上から電極パッドを貼ってはいけません。ずらして貼ってください

Q AED 使用時の体表金属について

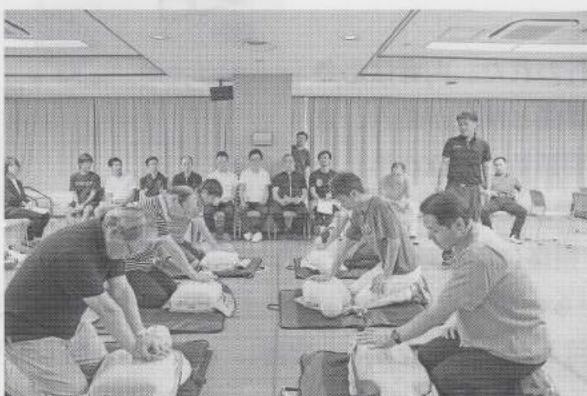
A 2枚の電極パッドの間に金属があってはいけません。アクセサリーはもちろんのこと、ワイヤーブラもショートするので除去しなければなりません

Q AED の場所がわからない場合はどうしたらいいですか

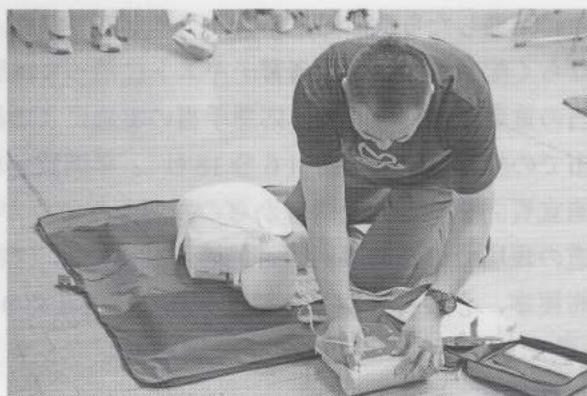
A 速やかにスマホなどで「京都市 AED マップ」で検索して探すのも一方法です

12時ごろには講習会は終了した。当日の受講者は本会会員、スタッフ等を含めて 35 名であった。

(広報部 安田優二)



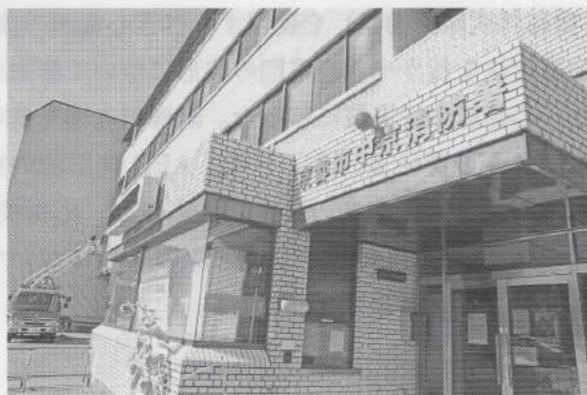
胸骨圧迫実習



AED実習



シミュレーション実習



中京消防署

平成29年度京都府総合防災訓練

平成 29 年 9 月 3 日(日)八幡市スポーツ公園において平成 29 年度京都府総合防災訓練が開催されました。

本会から6名の会員を派遣し、トリアージされた要救護者で、主に軽症とされる緑タグの救護者に対し、応急手当を行いました。

今回は9月3日未明から八幡市域に局地的豪雨が発生し、市街地を流れる河川では氾濫危険水位を超過し、支川周辺の低平地において床上浸水等が発生、一部住家が孤立。同日7時、八幡市域直下型地震（生駒断層）が発生し、八幡市、京田辺市、井手町及び宇治田原町で震度7を計測、これに伴い、八幡市の住宅地において火災が発生するとともに、急傾斜地において土砂災害が発生した被害を想定した訓練でした。

災害発生とともに、情報収集のための自衛隊、警察の機動部隊によるバイク偵察、ドローンを使った被害状況の情報収集が行われ、災害対策本部を設置。救急車両の到着とともに、土砂撤去や故障車両の牽引移動のための重機の投入とレスキュー隊による、がれきの除去とともに生存者早期発見のための警察犬の派遣、倒壊家屋からの救助等、警察・消防・自衛隊等の救助活動が開始されました。

救助された方に対し、DMAT（災害派遣医療チーム）のメンバーによる現場でのトリアージが行われました。黒（死亡又は救命不可能）、赤（生命に関わる重篤な状態）、黄（生命の危険が及んでいないが、治療が必要な状態）、緑（軽傷またはそれ未満）といったタグが手首に付けられ、それぞれ対応するテントへ運ばれます。

我々、京都府柔道整復師会は緑タグを付けられた要救護者に対して、骨折、捻挫、打撲、創部出血の応急処置を行いました。緑テントでは我々の他にJMAT（日本医師会災害医療チーム）の医師2名、看護協会の看護師5名が配置され、ともに救護活動にあたりました。

主に軽症と判断された要救護者の手当てでしたが、肋骨骨折の要救護者の脊体が徐々に増悪し、ドク



ターの判断で緊張性気胸の可能性が疑われ、救命処置が行えるテントへの搬送を行ったケースや、兄弟が行方不明になって混乱している要救護者への対応等、単純な手当だけでなく、現場で遭遇すると思われる多種多様なケースへの対応を訓練することができます。

午後12時に訓練は終了し、赤テント、黄テント、緑テントのメンバーで反省会を行い、平成29年度京都府総合防災訓練を終えました。

(広報部 森田康裕)

第6回京都府柔道整復師会・ 京都医健専門学校合同講習会

平成29年9月24日(日)午後1時より京都医健専門学校にて「第6回京都府柔道整復師会・京都医健専門学校合同講習会」が開催されました。

講師に理学療法士・さくらい悟良整形外科クリニックリハビリテーション科科長及び日本理学療法士会会員 運動器専門理学療法士の榮崎彰秀先生をお招きし、ご講演頂きました。

午後1時より中森稔博学術部員の司会進行で林 啓史副会長の開会挨拶にて始まりました。竹本雅信常務理事の挨拶、長尾淳彦会長の挨拶と続き、中田康人総務部長によるDVDを利用した柔道整復師会の活動内容の説明や入会案内が午後2時まで行われました。

午後2時より榮崎彰秀先生による肩腱板断裂の講義がパワーポイントを利用して講義され、

- ・肩腱板断裂について：発生要因・断裂の分類・発生頻度
- ・治療法について：保存療法・手術療法及びその予後について
- ・肩関節の解剖：肩関節の構造・動き・周囲の筋肉

これらの事についてお話をされました。

少し休憩の後、何人かのグループに分かれ肩周りの触診が行われ、

- ・肩甲骨の位置確認：肩峰角の高さ・棘上角と脊椎の距離・下角と脊椎との距離
- ・肩関節の動きの三段階の評価法：ファースト外旋・セカンド外旋・サード外旋
- ・小円筋のストレッチ：触診及びストレッチ法

の実技指導が午後4時10分まで行われました。

その後に質疑応答が行われ、最後に田中弘昭学術部長の閉会挨拶にて終了しました。

当日、京都医健柔道整復科の学生41名 京都府柔道整復師会25名の、合わせて66名の参加があり、実技の際には沢山の方から講師に質問があり、大変有意義な時間を過ごされたのではないでしょうか。今後の皆様の治療に活かされることと思います。

(広報部 梅谷慎二)



榮崎彰秀先生



実技風景

機能訓練指導に係る意見交換会

平成29年7月29日(土)午後4時からひと・まち交流館 京都4階 介護保険事業部会議室にて機能訓練指導に係る意見交換会が行われました。

始めに長尾淳彦会長が開会の挨拶をし、次いで中村英弘保険部長が意見交換会の概要を説明。

岡田達也事業部長から出席者が順次紹介され、各施設における勤務柔道整復師とのミーティングについて、機能訓練実施時におけるリスクマネジメントについて、各種問題点及び改善すべき点について協議されました。

最後に林啓史副会長が閉会の挨拶をして、意見交換会は終了しました。

(広報部 森田康裕)



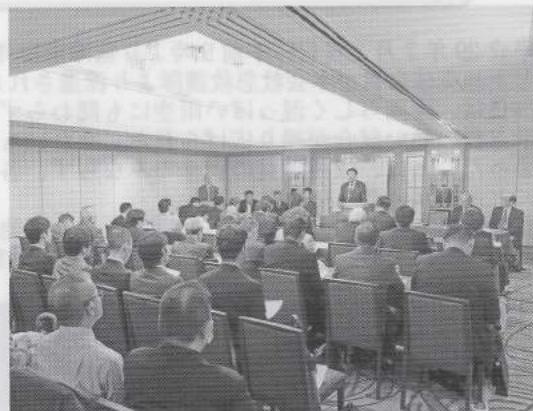
平成29年度 全体会議

平成29年9月16日(土)午後4時よりリーガロイヤルホテル百合の間にて平成29年度全体会議が開催されました。波多野晃彦総務部主任の司会進行のもと、会議は順次進められました。

始めに長尾淳彦会長の挨拶があり挨拶要旨は下記の通りです。

- ・日本柔道整復師会学術教育部長への就任について
- ・平成30年度からの養成校カリキュラムの改定について
- ・京柔整会員に対する臨床実習の協力依頼について
- ・療養費支給申請書の電子請求について

次に各部、各支部からの連絡・報告に移りました。



会場風景

総務部

- ・公益社団法人移行に伴う、会館規定細則の改定について
- ・京都府補助金事業について

- ・疑義返戻に対する再請求について

学術部

- ・今後の行事予定について

事業部

- ・救護、柔道、京都府医療推進協議会、伏見地域介護予防推進センターの今年度の事業報告について、今後の予定について
- ・各支部へ各種スポーツ大会の会員派遣のお願いについて
- ・柔道教室の現状について

会館移転委員会

- ・移転先、購入金額の予定について

経理部

- ・宮城県、岐阜県、茨城県との決算書の比較検討について
- ・交通費の算定について

広報部

- ・支部長、通信員へ京柔整会報への投稿のお願い
- ・145号の内容について
- ・ホームページの更新について

保険部

- ・京都市国保、京都府後期高齢者医療広域連合の今後の被保険者に対する対応について
- ・宇治市国保の文書通達についての担当者からの回答について
- ・協定書の改定について
- ・保険者からの施術者への直接の電話聞き取りについて

補助金事業基金事業対策(実施委員会)

- ・京都府補助金事業について

各支部からの報告

会場より療養費支給申請書の負傷原因の記載方法についての質問があり、記載方法について情報の共有が図られ、返戻する保険者への個別対応をする旨、担当保険部長、長尾会長より回答されました。また、東山・山科支部から提出された要望書に対しても長尾会長から回答があり、今後の京都府柔道整復師会の活動についての指針を共有できたかと思います。

(広報部 森田康裕)

➡ (右上に続く)

救護活動報告

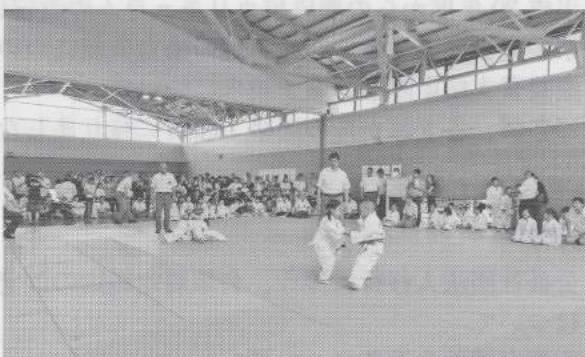
宮津与謝柔道連盟杯ジュニア大会

第五分隊 月城順学

平成29年7月2日(日)午前9時より宮津市民体育館柔剣道場において、標記の柔道大会が行われ、月城順学会員と上地克佳会員が本会救急救護隊より派遣された。

当日は、梅雨らしく湿っぽい雨空にも関わらず、試合会場ではチッピコ柔道家達の気合と熱気で湿っぽさが吹き飛ぶ程の熱い試合が繰り広げられた。それにも関わらず、負傷者が2名（左手関節捻挫・左股関節部打撲）に留まつたことは、救護隊員の我々のみならず、各道場の指導者や保護者並びに大会運営者を含めた、全ての関係者にとって幸いだったと言える。

救護活動を通じて得る知識と経験は大きく、他の支部においても各支部内の大会等に積極的に救護活動をされることが、京柔整会全体の底上げにも繋がると推察される。



救護活動報告

亀岡市柔道連盟昇段審査会 第66回 亀岡市平和祭市民柔道大会

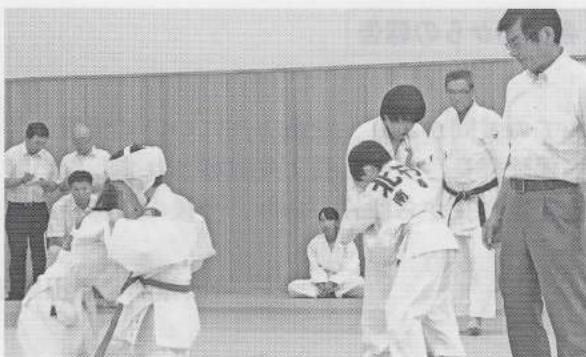
第四分隊 服部博幸

平成29年7月16日(日)亀岡市柔道連盟主催のもと、京都学園大学武道場にて昇段審査会および第66回亀岡市平和祭市民柔道大会が開催され、吉川秀則隊員とともに救急救護隊活動に従事してまいりました。

当日10時から昇段審査会があり、22名の昇段審査が行われました。5名の昇段が認められ、12時半に終了しました。

また、午後1時から市民柔道大会が開催され、小学低学年から一般の方まで約55名の参加があり、個人戦・団体戦、90試合の熱戦が繰り返され、午後4時、無事に大会は終了しました。大会中、4名の負傷者がみられましたが、いずれも軽症者でした。また、当日朝から気温・湿度ともに高く、熱中症の発生を危惧しましたが、京都学園大学の配慮もあり、空調を効かせた環境下での試合となつたため、熱中症の発症は見られませんでした。

柔道大会の救護活動は我々柔道整復師の存在を知つてもらういい機会であり、来年も参加しようと各会員で誓い合つた1日でした。



救護活動報告

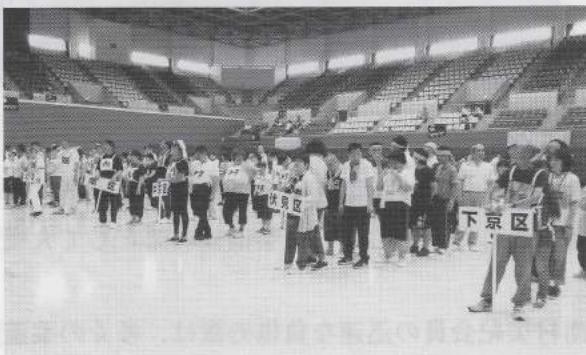
京都手をつなぐ育成会 第43回 親睦運動会

第二分隊 岸 本 隆 幸

京都手をつなぐ育成会 第43回 新陸大運動会が7月17日(月・祝)に開催され山形高明会員(左京)・岸本隆幸会員(左京)の二人で救護活動をしてまいりました。

今年は熱中症対策などの為、島津アリーナ京都(旧府立体育館)で開催されました。冷房完備の屋内での開催は過去の大会よりは快適だったと思います。転倒された選手はおられましたが、幸いな事に負傷者ゼロで閉会しました。

選手の方は、一生懸命に全力を出し切っておられ、感銘を受けました。スタッフの先生からオープン参加種目への参加を促され、玉入れに参加させていただきました。



救護活動報告

第53回 京都市バレーボール祭り

第六分隊 分隊長 国 本 一 路

去る8月27日(日)、西京極総合公園内のハンナリーズアリーナにおいて、第53回京都市バレーボール祭りが開催されました。出場選手は地域の女子バレーボール選手約400名が激しい熱戦を展開。この歴史ある大会の救護班として、第六分隊・崎山貴之隊員と私が出動いたしました。

午前9時30分から午後4時頃まで試合が行われましたが、幸いにも処置を必要とする負傷者はなく、大会も無事に終了しました。

しかし残念なことに、救護所を訪れた数名の選手たちから「全身マッサージをしてくれるんですか?」「おう、してもらえ、してもらえ」などの声をかけられる出来事が3回程度ありました。

今年から救護をするにあたり、ライフジャケットを着用することになりましたが、胸の一部に「接骨」「整骨」の文字があり、多分にこの文字を見て「全身マッサージ」をイメージされたのなら本当に残念な事です。休日を返上して柔整啓蒙活動に励む救護隊の先生方や、本会の理事・役員の先生方の尽力が、未だに世間の認識を変えるに至らない現実を目の当たりにし、より一層の努力が必要だと感じた一日でした。



東西対抗柔道大会

第六分隊 分隊長 国 本 一 路

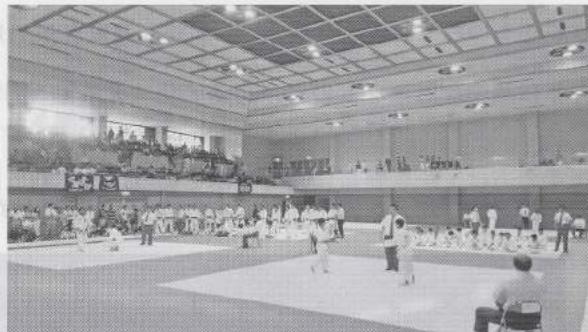
去る8月6日(日)、京都市武道センターにおいて第66回京都柔道場選抜東西対抗柔道大会が開催されました。出場選手は幼児・小学生・中学生・一般と幅広く、約500名の選手が手に汗握る熱戦を展開しました。

この歴史と伝統ある柔道大会の「マットドクター」として、整形外科医の小島 央医師を迎え、田井 覚本部隊員と私がサポートにあたりました。そして会場控えの処置班として菅野泰二郎会員、西村美紀会員の5名編成で大会の救護に当たりました。

この中で骨折3名を含む負傷者13名の処置にあたりましたが、特に鎖骨骨折・橈骨遠位端骨折・中手骨骨折において、小島医師の診察のもと、固定処置を施しました。このことは柔道整復師として大変貴重な経験となりました。

また救護班として数々の実績を持つ菅野泰二郎会員と西村美紀会員の迅速な負傷処置は、多くの柔道整復師や養成学校の学生が、見て学ぶ必要性があることを痛感しました。

昨今、柔道整復師を取り巻く環境が厳しくなる中で、柔道整復師本来の「業」である外傷処置の技術研鑽の場を設け、先人達が築き上げてきた柔道整復術の資質向上に励み、後進に道を開いて行くことが「現在を生きる」我々の大切な役割だと思います。



第10回 日整近畿ブロック親善ゴルフ大会

京柔整ゴルフ同好会 山形高明

日整近畿ブロック親善ゴルフ大会は、近畿1府4県の柔道整復師会に所属する会員が一堂に会し、例年秋に開催され今年で第10回を迎えました。

今年は京都府柔道整復師会が主管となり、8月27日(日)城陽市の難コース「東城陽ゴルフ倶楽部」で開催いたしました。

競技はダブルペリア方式で行われ、個人の成績を競う個人戦と各府県の上位者のスコアの合計を競う団体戦が行われました。京都府からは精銳10名が参加し、他県・協同組合指定業者様合わせて40名で競技を行いました。

個人優勝は奈良県の大石雄一会員、準優勝に京都の藤田徹会員(下京)が入賞され、団体戦はここ数年京都が連覇しておりましたが、今回は惜しくも2位になってしまいました。

来年は奈良県が主管となり開催されますので、団体優勝奪還を目指そうと思います。

京柔整会ゴルフ同好会では毎年春と秋の2回ゴルフコンペを開催しています。アスリート志向が強いゴルファーからエンジョイゴルファーまで一緒にゴルフを楽しんでいます。

次回の京柔整会コンペは、来年春に予定していますので是非ご参加お待ちしております。



平成29年全国少年柔道協議会 京都府少年柔道教室

事業部 田井 覚

去る平成29年8月5日(土)京都市武道センターにおいて京都府少年柔道教室が開催されました。講師として世界大会での優勝経験のある浅見八瑠奈氏が招かれ指導に当たって頂きました。当会が毎週開催している少年柔道教室から多くの生徒、保護者が参加し、真剣な表情で指導を受けていました。実技指導の後に質疑応答の時間が設けられましたが、たくさんの質問が出ていて、参加された生徒、保護者、指導者にとって、世界を経験された方の指導を受けられるこのような機会は大変有意義な時間になった事でしょう。この経験を生かして当会柔道教室の生徒たちにも飛躍してもらいたいと思います。



富士に登る

下京・南支部 安田 優二

日本人の心の故郷ともいえる存在が富士山ではないかと思っている。2013年には世界文化遺産に登録されているが、その存在感を考えると遅いのではないかと日本人である私は思う。さて、私は2015年の夏に富士の周辺を巡り、富士を愛する旅をして、2017年の夏に富士山に登った。その中で富士登山の様子を投稿させていただく。

登山までの話

富士を愛する旅をする以前から富士山は外から眺めるのは素晴らしいが、登って素晴らしいとはいえないという話はよく聞いていた。でも一度登ってみないと真偽はわからないと思っていた。そんな折、知り合いが「富士山に登ろうと思っているけど、一緒に行かへん?」と言ってきて、「え~?」と不確かな返事をしていたが、その時はまだ登る段階じゃないなあと思っていたのでそう答えていた。そしてその人と久しぶりに会ったとき、「行ってきたよ~、良かった」と話してくれて約1年後、僕は富士登山に出掛けた。色々調べていて、最初は自分の自動車で麓まで行ってバスで五合目まで行こうと考えていたが、結局は富士登山のツアーに申し込んだ。ツアーといつても案内人がいないフリーのツアーである。

僕はライフィベントの一つとして富士登山を捉えていて、なるべくゆっくりと富士登山を味わおうと思っていた。そんな僕が選んだのは行き帰りが夜行バスで吉田ルートを使い、8合目付近の山小屋で一泊というプランのツアーだった。このプランは選んだツアー会社で一番長い設定だと思われた。富士登山のルートは吉田ルート、須走ルート、富士宮ルート、御殿場ルートと4つあり、吉田ルートは最もボビュラーなルートである。しかし、それゆえに人が多いことが短所なルートである。そのことを考慮して人が集中する土日を避けてツアーを申し込んだ。そして近場で練習登山をいくつか行い、近所となるべく毎日、ウォーキングするようにした。しかし、予定がけっこう詰まっていて低い山をほぼ半日で登るパターン数回となってしまった。近所のウォーキングもトレーニングになるが、自宅の近所ではアップダウンがほぼない。近所に丘陵地や低い山でもあれば全然違ったかなと思う。

すべての荷物をリュックにパッキングしたのはなんと前日で、背負ってみてその重さに愕然とした。飲料水を約3リットル入れたことや、夜の冷え込みに備えた防寒着も重い要因であり、荷物を減らそうと試みたが、何を減らすのがベストなのか経験不足で測り兼ね、結局ずつしり重い荷物で出かけることになった。靴に関してはフィッティングにかなり迷いがあった。手持ちの靴でも良かったがジャストフィットだと下りでつま先が当たりやすく、いったん痛みが出てしまうと長距離だけに大変づらうことになる。そのような問題点はクリアしておきたかった。結局ワンサイズ大きめのトレッキングシューズを買って慣らすこととした。

いよいよ出発

7月24日(月)午後11時ごろ、京都駅八条口からバスは出発した。多くのバスが出るので早めに係の人を探すため辺りのツアーケイブに聞く。係の人を見つけてバスが来るのをしばらく待つ間、同じツアーの人と話していた。その人は奈良在住で10回くらい富士山に登っておられるベテランでいろいろと話を聞くことが出来た。バスに乗り込んで何度かトイレ休憩をして夜が明け、吉田ルートの出発地、富士スバルライン5合目に着いた。結構眠れたかなと思った。バスが着く直前は陽が差してちらちらと富士の威容が目にできたのに、着いたら曇っていて富士は見えなくなってしまった。富士急雲上閣というロッジで準備をして朝食を摂る。ネットや本で得た予備知識によると体を高度に慣らすため1時間以上ゆっくりしたほうがいいとのこと。富士スバルライン5合目の標高は2,305mで、頂上は3,776mである。中学生の頃、5合目まで来たことがあるが、それ以来、それほど高い所には上がっていない。ゆっくりしていたら、同じバスのベテランの方が一緒に登ろうと誘って下さる。色々考えて、自分のペースで登る方がよいと判断して「自分はペースが遅いので」と伝えて、先に行っていた。最初の計画では富士山小御嶽神社にお参りするなどして5合目周辺でぶらぶら歩くつもりだったが、リュックの重さがかなり気になるので登り始めることにした。

富士に登る

7月25日(火)午前10時ごろ、登山口までゆっくりゆっくり歩きはじめる。登っているのは大人数の団体の人、グループの人、家族、カップル、単独の人、様々である。海外の人も全体の半数くらいかと思うくらいに多い。登山口まで結構な距離を歩いてから吉田口の登り口看板が出てくる。ガスっていて展望はほとんどない。6合目までは勾配は少な目である。水を十分摂って、行動食も積極的に摂った方がいいというのでそのように努める。後になり、先になりという人もあって励まし合いながら登って行く。吉田ルートの5~6合目辺り、もっと上で場所によって登山道がかなり人工的に造成されているようだ。ブルドーザーなどの重機が置かれているのもしばしばである。そのようなこともあって興奮をそがれるせいか、富士山は登るよりも周囲から眺める方が良いとされるのである。

6合目からは勾配も強くなっていく。ゆっくり登っているが登りしかないのでだんだんと疲労していく。休憩の頻度も増えてきて、その時間も長くなっていく。疲れて眼鏡も出てくる。休みながら、うとうとする場面も出てきた。高山病の兆候が出ていたのかもしれない。高山病とは血中酸素濃度が低下することによって起こる症状である。なるべく深い呼吸をするようにする。眠ってはいけないとされるが睡魔と戦うよりはうとうとする方が楽なのである。砂礫状の登山道が多かったのが7合目に近づくと、岩場が多くなり、それは8合目まで続く。今回、登山用ストックを買って持参したが岩場では仕舞うことになるかと思っていた。しかし、仕舞うことなく使うことになった。ストックは持参して良かったと思う。使うことで安定度が増して、滑って転倒しそうな場面でも持ちこたえることができた。天気はほぼ曇ったままで下界の眺望もほぼ楽しむことができなかつたが、少しは青空や雲や太陽が姿を見せてくれた。それらは下で見るものよりずっと大きく近くに見えた。



5合目登山口付近



8合目付近



8合目で顔をのぞかせた太陽



雲が真横だ（8合目）

山小屋到着

5合目から前後して歩いて来た人が「私はここで泊まりです。頑張って～」と、7号目の山小屋で手を振って別れる。今回の泊まりはツアーデ設定された、本8合目の胸突江戸屋というところで8.5合目くらいの所にある。まだか、まだかと登ってきたが、意外とあっけなく看板が見えて、ホッとした。しかし、かなり疲労が激しくほぼ限界だったようだ。普段の運動量を遥かに上回っているのである。山小屋のサイトを見ると宿泊人数200名と明記されているが、とてもそんなに泊まれるとは思えない。宿泊する部屋に案内されると2段ベッドのようになつていて畳、半畳くらいのスペースに隣の人と密着するように寝る。その日はまたま右側のスペースは空いていて良かった。かなり機械的な対応で案内され、カレーと決まっている食事も速やかに摂らないといけない雰囲気。ネット情報のまんまであった。そういう状況はおそらく富士山の多くの山小屋で共通しているのである。しかし、それとは別にここから私にとって試練が始まった。食事後、しばらくして吐き気が訪れ、すべて吐いてしまうことになった。張り紙には「トイレで吐くな。外で吐け」みたいなことが書いてあったが、嘔吐をこらえるのは至難の業である。胃に何もなくなつて水を飲んでも吐き気は訪れ、手で口を押えて窓まで走って行って、外に吐いた。汚い話で恐縮であるが事実である。急性高山病になるかどうかは高地に慣れているかということ以外に人々の体质もあるのである。私は残念ながら高山病になってしまった。その事実は受け入れなければ仕方がない。吐き気の前から頭痛もあった。これも典型的な高山病の症状で、用意していた鎮痛薬を飲んだがすべて吐いてしまったと思う。しかし、周囲でもゼーゼーハーハーと四つん這いで深呼吸を続ける人など何人かは高山病で苦しんでいたようだ。消灯されて真っ暗の中で「同志よ、お互に頑張ろう。頑張り抜こう」と心で語りかけたものである。



宿泊した山小屋



雲のじゅうたん

頂上を目指す

さて、富士登山の人気イベントが頂上でご来光を拝むことであるのは有名である。「ご来光を見られる方はそろそろ出発して下さい」と声がかかる。しかし、私はその時に出発する気力がなかった。夜が明けてから出発することにして、眠ることにした。周囲が明るくなってから寝床を出て、準備して出発した。幸いなことに頭痛や吐き気は収まっていたが、何かを食べる気は起きなかつた。

8.5合目の山小屋、標高3,350mから頂上3,776mまでは、たつた426mに過ぎない。しかし、これがきつい。雲海や、あたかもご来光のように差し込む日差しの景色も楽しみながら一歩一歩、踏みしめるように高度を上げて行った。周りの人達もほぼ同じような感じに見えた。挨拶をして、しんどそうな人を励ましたり、励まされたりもした。そして7月26日(水)、午前8時過ぎ、吉田口頂上に到着した。お日様が出てきて暑いくらいになつた。ベンチに座って、ゆっくりと移りゆく空を眺めていた。ここまで来たらお鉢巡りもすることにして気力を振り絞り、富士の最高峰、剣ヶ峰を目指して歩いた。富士山頂上浅間大社にお参りして、守護ステッカーを買う。頂上郵便局は外から眺めて写真を撮る。やはり一歩一歩踏みしめながら歩く。頂上周辺はとても広く、多くの人が休んだり歩いたりしていた。ブルドーザーも止まっている。馬の背といわれるしんどい登り坂を登り、剣ヶ峰まで来たが、それほど感慨は湧かなかつた。大勢の団体で一杯だったこともある。その後、お鉢巡りをしている間に小雨が降りだした。

下山する

カッパを着て頂上のお鉢を1時間以上かけて一周し、下山する。下山では小雨が降ったり、雨足が強くなつたり、止んだりと変化したが晴れることはなかつた。カメラが濡れるので写真も撮らなかつた。眺望もなし。途中、山小屋で800円のカップ麺を食べて500円の水を買った。降ったり止んだりの雨の中、何度も休憩をしながら降りた。雨は優しい雨に感じた。きっと日差しが強い方が大変だったと思う。夕刻に差し掛かる時間に下山して、富士スバルライン5合目まで歩いた。ロッジでゆっくりしてから、ほぼ海外の客ばかりが乗った路線バスで河口湖駅まで降りてきた。そしてその近くのふじやま温泉に向かう。無料シャトルバスの時間が中途半端なのでタクシーを使う。ゆっくりと風呂に浸かり、サウナに入り、水風呂にも浸かる。至福である。ふじやま温泉の泉質はマグネシウム・カルシウム・ナトリウム炭酸水素塩・硫酸塩・塩化物泉が含まれており全国的に珍しいものだそうだ。食事もツアーデ含まれているが、定食風の3つから選ぶシステム。生姜焼き定食を選び、ふじやまビールも飲んだ。

帰京する

午後10時ごろ、ふじやま温泉前からツアーデバスに乗り込み、帰路に着いた。このバスはいろんな企画のツアーデ参加者を寄せ集めているようであった。バスは順調に走り、予定時間より早く7月27日(木)、早朝5時過ぎに京都駅八条口に着いて帰宅した。少し寝て仕事をした。

富士登山の記録

最年長登山登頂記録は1988年8月8日、満101歳で登頂された五十嵐貞一翁さん。では最年少記録をネットで検索すると3歳の男児が登頂した様子がYOUTUBEに登録されていた。最多登頂記録は2017年7月7日の時点で實川欣伸氏の1921回。この辺りになると「神ってる」という言葉がとてもしっくりくる。

登山を終えて

さて、富士登山は私に何か変化を与えてくれたのだろうか。うまく表現できないが現実と行動と意識との関係性を理解したような気がしている。一歩一歩、歩き続けると頂上には着かないし、戻ってくることもできない。頼れるのはとりあえず自分の体と気力のみ。足慣らしに毎日、近所を歩いているとき土地の神に「頑張って行ってこい。心配はいらぬ」と励まされたような気がした。私は地元の神々の媒体として、また、私に関わる人々の想いも込めて富士の神々に挨拶をした。そして富士に長く留まることで富士のエネルギーと同調した。ヘロヘロに疲れたが今回の富士登山には大きな意味があり、幸せを感じた。自分で勝手に行ったようで多くの人の助けを頂き、携帯酸素や知識や励ましやご心配なども頂いた。大変感謝している。最後に一言「ありがとうございました！！」



少しずつ昇ってゆく朝日



頂上浅間大社奥宮



お鉢



剣ヶ峰 3776m

コラム

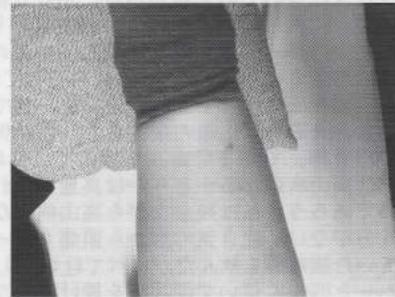
浮腫について

浮腫とは・・・

リンパ液の循環が悪くなり、起こる現象。正確にはリンパ管の中を流している物をリンパ液と呼び、性状が似ている為、組織液のこともリンパ液と同じ扱いをする事が多いです。

動脈側毛細血管より組織内に入り込み組織に栄養を与える栄養リンパ液と呼びます。

各種細胞組織に栄養を与え、代謝産物を含んだものを組織リンパ液と呼ぶ。又、静脈毛細管及びリンパ管に出入りする為、流出リンパ液とも呼ばれます。



全身性浮腫とは

心原性浮腫・・・心臓が起因で発生する浮腫。心不全

腎性浮腫・・・ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、腎不全が原因となる浮腫

肝性浮腫・・・肝硬変、門脈圧亢進症が原因となる

内分泌性浮腫・・・甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症、月経前症候群（PMS）

栄養障害性浮腫・・・栄養不足による血中タンパク質低下（血中アルブミン低下）、癌、摂食障害、過度なダイエット、アルコール依存症

薬剤性浮腫・・・降圧剤、抗がん剤、非ステロイド系抗炎症薬

肥満性浮腫・・・皮下脂肪による静脈圧迫

局所性浮腫とは

血管性浮腫・・・静脈瘤

血管運動性浮腫・クインケ浮腫（蕁麻疹の一種）

リンパ性浮腫・・・リンパ節切除、リンパ管機能不全

炎症性浮腫・・・やけど、痛風、関節リウマチ等

外傷性浮腫・・・骨折、打撲、捻挫にて炎症反応により起こる

麻痺性浮腫・・・脳梗塞などで身体が反応しにくくなると、その麻痺している部分に浮腫が生じる

上記のような事が浮腫の原因となるのですが、大抵の場合は塩分の過剰摂取、睡眠不足、過労が原因となって起こっている事が多いです。

浮腫が起こるメカニズム

細胞と細胞の間にある液を間質液と呼び、動脈側の血管から染み出し酸素と栄養素を細胞に届ける、それと同時に二酸化炭素と老廃物を静脈側の毛細血管とリンパ管に戻す役割も担っていて、常に毛細血管で間質液の出入りが行われている。（毛細血管には微小な穴が開いており、自由に出入りすることができる）

この血管から染み出る水分と吸収する水分量は通常は一定となるようになっている。

血管から染み出る量と吸収される量のバランスが崩れることにより余分な水分が溜まり、浮腫となって現れる。肝臓や腎臓に異常があると水分が血管から多量に滲出し皮下に蓄積される。これがいわゆる浮腫である。（血中アルブミン濃度が低下することにより、浸透圧が変わることが原因）

水分が多量に滲出する原因

肝硬変、ネフローゼ症候群、肝臓、腎臓の病変、低たんぱく血症、アレルギー、虫刺され、皮下組織の損傷。

血管に戻りにくくなる原因

心不全、下肢静脈瘤、筋力低下、長時間の同一肢位これらが再吸収低下を低下させます。

浮腫とは一口にいっても様々な原因があり様々な病気の症状の一つとして現れている可能性もありますので、おかしいと思ったら病院にて診断を仰ぐように勧める事も我々の役割ではないでしょうか。

（広報部 梅谷慎二）

会員制ビデオでたまたま見た「やっさん」というドラマで伊原剛志さんが演ずる“やっさん”が「矜恃」という言葉を何度も口にしていた。「goo 辞書」の検索ランキングで今年 2017 年のトップ 20 に何回か上がっていた言葉もある。

そこで今年の流行語大賞にノミネートされるかもしれない「矜恃」という言葉に興味を持ち、今回調べてみた。

まず、読み方として「きょうじ」と読み、慣用読では「きんじ」と読むこともある。数冊の辞書で調べると、〈自分の能力を優れたものとして誇る気持ち。自分を信じてプライドに頼りながら行動する。自負。プライド。「～を傷つけられる」〉とある。

矜恃の漢字の意味を説くと、「矜」は「憐れむ、誇る、得意になる、慎む、敬う」、「恃」の字源は「心」と「寺（保つ）」で、「心の中に保つ=頼る」を意味する。

二つの漢字を合わせると、「頼りにして誇る」という意味になる。心の中に自信の元となるものがあり、それが原動力として現れる行動のことと解釈もできる。

矜恃は現在常用漢字で矜持「持」とされていることが多い。しかし、漢字の下の意味からすると、「矜持」は自らの意識が外見上にも溢れていて堂々としている人を表し、「矜持」は外面からはそれを察することはできないが、内面は溢れんばかりの自尊心を抱えている人と表される。

よく小説や自己啓発の表現では「武士の矜持」「職人の矜持」と表現されることも多いが、ここで柔道整復師としての「矜持」とは何かと、ふと思った。

私が柔道整復師免許を取得した当時は、殆どの学生は接骨院・病院のお手伝いをしながら、専門学校に通っていた。そして免許を取得後も専門学校の推薦状を書いていただいた先生の接骨院・病院で、今では死語となっているかも知れないが「お礼奉公」と称して数年は柔道整復師術を学び研鑽をしたものだ。そこには柔道整復師、治療人としての修行なのかも知れない。わたしも「師匠」から技術だけではなく治療家、人としての矜持を学んだ。

近年、「師匠」を持たない柔道整復師も多いと聞く。平成 30 年度から開始される実務研修制度はいかに人と人を繋ぎ、絆を高めるか。そして個々の「矜持」取得に期待をしたいものだ。

これも柔道整復師が「生業」^{なりわい}と割り切るのか、「仕事」として切磋琢磨していくかにもよると思う。

参考：漢字源、新字源、現代国語例解辞典、goo 辞書、漢字辞書、和の素敵、意味プロ、yahoo 知恵袋、おすすめ情報 ランキング site

追記：今回初の試みとしまして、広報部員による「部員紀行」「コラム」と題して投稿させていただきました。

広報部では「京柔整会報」を皆さんに興味を持って読んで頂こうと、企画段階で次号の取材内容、特集などを検討しております。

なにぶん広報部員だけの知恵と経験だけでは、狭い観点でしか企画は進みません。会員の皆さまの投稿と企画のご提案、ご意見・ご感想などを戴ければ幸いです。取材等にも対応させていただきますので、事務局までお寄せいただきますように宜しくお願ひ申し上げます。 (広報部長 中川稔貴)

支部だより

下京・南支部総会、懇親会

通信員 安田 優二

平成29年7月15日(土)、午後5時より河原町御池の京都ホテルオークラ3階「光舞」にて下京・南支部総会が開催されました。定刻になり、保家幸生支部長より挨拶があり、次に森島康之支部会計より平成28年度会計報告が行われました。そして今後の方針としてできるだけ会費を上げずに維持、運営していく旨の提案があり、討議が行われ、承認されました。次に佐藤隆信支部監事より監査報告が行われ、関係書類を確認した結果、適正に処理されているとの報告がありました。次に保家支部長の提案で前年度より継続審議している議題として支部での区民体育祭等へのボランティアでの救護員派遣について意見交換がありました。その件について林 啓史副会長より「本会事業部の立場としてボランティア派遣を推進していくので積極的に参加いただきたい」と話されました。本会救急救護隊においては当支部より本年度は中村賢治会員、住田卓也会員が隊員として登録されており、活動されると発表されました。次に宮畠博己会員のご子息のご結婚で会と支部からの祝金が保家支部長より手渡されました。

支部総会は以上で終了し、午後5時30分より本会、長尾淳彦会長をお迎えしてお話をありました。内容は本会からの情報伝達のこと、これから進んでいく大幅な柔道整復師業界での改革のこと、協同組合の改革を進めていくことなどについて詳細に話されました。

午後6時より懇親会に移りました。懇親会では本会顧問の伊吹文明衆議院議員秘書の大久保雅夫様ほか自由民主党議員の先生方のご参加を賜りました。以下に参加者のご芳名を記します。

- ・伊吹文明衆議院議員秘書 大久保雅夫 様
- ・京都市議会議員 小牧實司 様
- ・京都市議会議員 秋田公司 様
- ・京都市会議員 下村あきら 様
- ・京都市会議員 棚田隆知 様
- ・京都市会議員 しまもと京司 様 (順不同)

保家支部長挨拶、長尾会長挨拶に続き、大久保雅夫様より参加議員のご紹介、秋田議員の挨拶、下村議員の挨拶、棚田議員の挨拶、しまもと議員の挨拶と続きました。そして、佐藤監事の乾杯の発声により和やかに歓談となりました。そしてご公務のため、遅れてご参加いただきました小牧議員の挨拶がありました。続いて学術部、吉舎定良会員より今後の学術研修会の日程のお知らせ、林副会長より9月16日の伊吹文明先生講演会のお知らせと続きました。そして黒木由紀夫会員より挨拶があり、ひとしきり歓談の後、閉会となりました。

当日は祇園祭の宵々山で、うだるような暑さの中、京都の街は多くの人でぎわっていました。お忙しい中、ご参加賜りました自民党議員の先生方、長尾淳彦会長に心よりお礼申し上げます。



保家幸生支部長挨拶



長尾淳彦会長挨拶

支部だより

平成29年度 夏季左京会開催

通信員 岸本 隆幸

平成29年8月5日に夏季左京会が、かに道楽本店にて開催されました。山形高明幹事より左京会会員動静、今後のスケジュール、会計報告がなされ、栗原武弘監査役より昨年度の会計が適正に行われていたとの報告があり承認されました。



その後、長尾淳彦会長から今後の柔道整復師会のあり方、患者を増やし収入を増やせるシステム作りなど大変為になる講演をして頂き懇親会に移りました。

次回の左京会懇親会も有意義な楽しいものにしようと皆で盛り上がり終宴を迎えました。



支部だより

西山会開催

通信員 石田陽寛

平成 29 年 8 月 26 日(土)午後 5 時 30 分からホテルグランヴィア京都で西山会が開催されました。長尾淳彦会長から最近の業界の動向について「近年、厚生労働省が検討委員会を立ち上げ、養成施設校カリキュラム等の改定、国家試験の出題基準の見直し、資格取得後の臨床研修制度など、これまで以上に研鑽した質の高い柔道整復師が卒業していく中で一人一人の会員が確かな整復、固定などの技術を磨く事が肝要であると同時に公益社団法人京都府柔道整復師会の組織力を上げていくことが大切である」と話をし

て頂きました。

次に「業務報告」として保険部から中村英弘先生、広報部から中川稔貴先生、学術部から石田陽寛が業務報告を行いました。

最後に乙訓支部の辻田茂貴先生が平成 28 年度の会計報告をされました。

その後、吉川秀則先生からの会計監査報告により会員全員の承認が得られ研修会は閉会を迎えました。

そして午後 6 時 30 分から藤野勝弘先生より挨拶があり和やかに懇親会が行われました。



支部だより

北、上京支部会・懇親会

通信員 相良遼太

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は、全国に於いても台風や大雨による水害が多くあり、また気候においても、秋暑な、厳しい毎日を迎えております。

さて、平成 29 年 7 月 22 日(土)午後 6 時 30 分より京都上七軒のお茶屋「梅乃」にて北、上京支部の支部会・懇親会が開かれました。京都上七軒は北野天満宮を近くにもつと共に、お茶屋・舞妓発祥の最古の花街としての伝統をもつ場所です。

「梅乃」もその伝統を重んじ守るような、伝統的な雰囲気をもったお茶屋さんであり、その中、北支部長福島貞行先生の進行で懇親談話会が始まりました。

会計報告、監査報告、来年の近畿ブロック学術大会についての議題、そして、柴田宗宣副会長による、現在の柔道整復師会の動静と我々柔道整復師がどのように医療人として社会に貢献し地域の人たちに認められ、根付いていくことが

大切かを伝えられました。

また、お茶の席では舞妓・芸妓さんが日々修練された小唄や舞踊、三味線などをお座敷で披露し、我々をもてなし大いに楽しませてくれました。

各会員で舞妓・芸妓さんと共に和気藹々と団欒し、有意義な時間を過ごし、親睦を深めることができました。次回、支部会・懇親会もたくさんの参加を楽しみにしております。

残暑厳しき折、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



会員の動静

新入会員紹介

兼本翔太 (南山城支部)
(7月入会) かねもと鍼灸整骨院
〒614-8028
京都府八幡市八幡源氏垣外
85-1
Tel: 075-983-3877
Fax: 072-852-8025



西野慎太郎 (乙訓支部)
(8月入会) 西野接骨療院
〒617-0006 京都府向日市上植野町南開57
Tel: 075-933-0132

退会

6月 谷内聖樹 (左京支部)
7月 西野和弘 (乙訓支部)
9月 馬渕明雄 (南山城支部)

田中一成 (北支部)
(9月入会) かずまさ整骨院
〒603-8247
京都市北区紫の泉堂町28番地
レジデンス浅野1F
Tel: 075-366-6999



新井将司 (城陽支部)
(9月入会) 新井接骨院
〒610-0113
京都府城陽市中樋ノ上34-1
Tel: 0774-84-6113



お詫び 今号、京柔整会報145号の発行に付きまして、校正の遅れにより発刊が遅れました。ご迷惑をお掛けし誠に
すみませんでした。今後、遅れが無いように努力して参りますのでよろしくお願いします。 広報部一同

掲示板コーナー

京柔整カレンダー

		柔整関係	京都の行事
12月	21日(木)		終い弘法
	25日(月)		終い天神
	30日(土)～	会館休館日	
1月	～3日(水)	会館休館日	
	10日(水)		十日ゑびす大祭
	21日(日)		初弘法
	25日(木)		初天神
2月	4日(日)	第2回目運動器疾患対応力向上研修事業 (京都商工会議所)	
	18日(日)		京都マラソン2018
3月	18日(日)	第70回京都接骨学会・保険講習会 第3回目運動器疾患対応力向上研修事業 (京都商工会議所)	

毎月、第3土曜日に保険説明会が開催されます。(詳しくは事務局まで問い合わせてください)

編集後記

- 個人的なことで恐縮ですが、施術所を移転いたしました。移転の際は廃止届と開設届と2つを提出する必要があります、協定番号が変わります。月半ばの移転の場合、移転月の療養費支給申請書は前の施術所と新しい施術所と2枚を提出します。返戻があった場合には前の施術所のものは前の施術所での再請求、新しい施術所のものは新しい施術所での再請求となります。労災は変更届を提出しますが、同じ登録番号です。移転月も1枚で請求できます。
- 最近、北朝鮮との問題がかなり緊迫した空気が流れていますね。恐らく国自体の生活もままならない状態になっており、国内はかなり切迫した状況なのが想像できます。そんな中、ミサイルの発射実験も最近になり頻繁に行っている様子ですが、状況を開ける策はあるのか微妙なところではありますか…。対話で解決出来れば一番とは思いますが、平行線のままになりそうな気もしますね。何よりこのまま戦争に突入しないことにならない事を祈ります。
- 本会の「京柔整会報」は今号で145号を数えます。現在の発刊はA4サイズで年間4冊ですが創刊時は違っていました。創刊号は昭和49年7月15日発行B5サイズで4面（ページ）というものでした。毎月発刊で理事会だより、支部だより、お知らせ、会員の動静、等々の内容でした。それ以前は「柔整会報」として昭和29年2月～31年12月（30号）まで存続し、昭和32年1月から題名を「にわとこ」に変えて発刊されていましたが昭和39年に京都市中京区西ノ京に本会会館が建造されて事務局が移されて後、「会報」としては途絶えていたとのことです。以上のことは本会保存の「京柔整会報」に掲載されていました。しばし本会を支えて来られた大先輩について思いを馳せる秋のひと時でした。ちなみに「にわとこ」は落葉低木で接骨木と書きます。古来、骨折時の湿布薬として利用されたそうです。
- 日々、寒さがつのつてまいりました。さて、人と関わると何かと嫌な発言や噂に悩まされることがあります。Amazonジェフ・ベゾスCEOの言葉で「自分への好ましくない発言に対する最善の防御は鈍感になること。波を作っていない人が批判を受けることはない」と言っておられます。変わりゆく時代に、波の一つでも起こせたらと思う今日この頃。気付けば1年が過ぎていたとならないように、行動を起こせれど。明日からじゃなく、今日のわずかな時間から始めよう。

森田康裕

しんじ

YUJI

☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 11月24日

京柔整会報 機関誌 145号

平成29年11月20日

発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦
編集責任者 広報部 中川 稔貴
発行所 京都市中京区壬生松原町16番地 室谷ビル3階
☎ 京都(075)813-1156
(広報部)
印刷所 奥原印刷紙行
京都市西京区松室北河原町205
TEL.(075)381-5611
FAX.(075)392-0111

導入実績10,000件以上! 接骨院・整骨院専用のレセコンなら『三四郎くん』

柔道整復師向 事務管理システム

三四郎くんVer.7.2

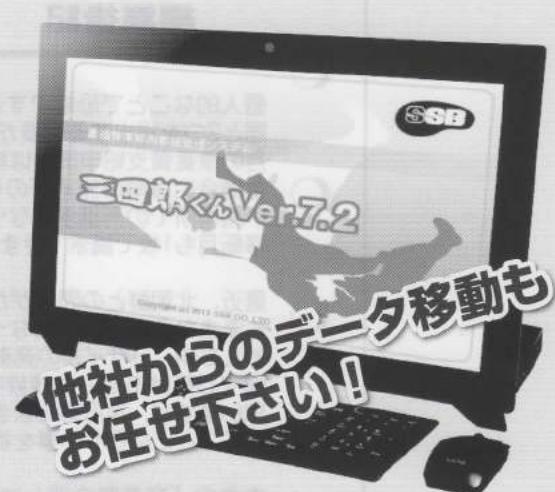
療養費改正等の保険改正にすばやく対応。

迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



保険証入力画面 ▲

傷病通院入力画面 ▶



一部ご希望に添えない場合があります。

オプションで
さらに便利!



超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



HS-2200

医療機器認証番号:
225AHBXZ00034
製造販売元:本多電子株式会社



Xario 100
S Edition

医療機器認証番号:
225ACBZX00066000
製造販売元:東芝メディカルシステムズ株式会社



ARIETTA
Prologue SE

医療機器認証番号:
227ABBXZ00109000
製造販売元:株式会社日立製作所

※その他、様々な機種を取り揃えております。



東京ショールーム・ 超音波研修センター

多くの先生方に超音波観察装置をご理解いただくため、「東京ショールーム・超音波研修センター」を開設致しました。

当社で取り扱いのある超音波画像観察装置を実際にご使用いただけます。

また、定期的に超音波セミナーも開催していますので、お気軽にご相談ください。



株式会社 エス・エス・ビー

【関西営業所】〒532-0011
大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号
TEL 06-6390-3462 / FAX 06-6390-3463

<https://www.sanshiro-net.co.jp/home/>

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
► <http://www.jusei-news.com/>

詳しくはこちら





スポーツ × 医療

～新たな可能性を切り開く学び～

◎中学・高校保健体育一種免許状取得可能 ※星槎大学との協定による

◎鍼灸師＋柔道整復師のWライセンス取得を全面サポート

トップアスリート、スポーツメディカルリストを目指す

 明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

TEL 0771-72-1188(入試事務室) FAX 0771-72-1189

URL <http://www.meiji-u.ac.jp>

看護学部
看護学科

■看護師・保健師・助産師
(国家資格)
■看護教諭二種免許
■第一種衛生管理責任者免許
■アロマセラピスト(認定資格)

保健医療学部
救急救命学科 柔道整復学科

■救急救命士(国家資格)
■健康運動実践指導者
■スポーツプログラマー
■ジュニアスポーツ指導員
■ベーシック・サーフ・
ライフセーバー

柔道整復学科
鍼灸学科

■柔道整復師(国家資格)
■アスレチックトレーナー(JATAC)
■スポーツプログラマー(JATAC)
■ジュニアスポーツ指導員
■健康運動実践指導者

■アスレチックトレーナー(JATAC)
■スポーツアロマトレーナー(ISTA)
■アロマコーディネーター(JAA) etc.

誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ

 明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町 7-53

TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800

URL <http://www.meiji-s.ac.jp>

専門学校HPは
コチラ!!

鍼灸学科 [医療専門課程3年制]

■指す資格

はり師・きゅう師(国家資格)
■アスレチックトレーナー(JATAC)
■スポーツアロマトレーナー(ISTA)
■アロマコーディネーター(JAA) etc.

柔整学科 [医療専門課程3年制]

■指す資格

柔道整復師(国家資格)
■アスレチックトレーナー(JATAC)
■スポーツアロマトレーナー(ISTA)
■アロマコーディネーター(JAA) etc.

